

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社南陽建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO9001を取得している。 ・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルを設置し、オフィスの節電に取り組んでいる。 ・公用車(社用車)は、一部ハイブリットやEV車としている。 ・LEDの使用を徹底している。							7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している。 ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、公用車(社用車)は、一部ハイブリットやEV車とし、環境配慮型重機を積極的に導入する等CO2排出の抑制に取り組んでいる。			2.4						7.2 7.3 7.a		12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・お客様へ出すお茶はペットボトルから紙パックへ変更し、プラスチック削減に努めている。 ・事務所、現場でゴミの削減や分別を徹底し、事業及び従業員の活動においても廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている。 ・地元のボランティア活動に積極的に参加し、緑地や水辺の整備により、生物の育成・生育地の創出に取り組んでいる。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ごみの分別を徹底し、現場では産業廃棄物100%リサイクルに努めている。 ・コピー用紙は再生紙を利用し、コピー機の横に裏紙BOXを設置し、ペーパーレスや裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性保全に努めている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・現場や事務所に「節水」や「汚水等の適切な処理」等の注意喚起を全体会議で実施している。 ・事務所内設備に節水器具を使用している。 ・稚魚(ヤマメ)の放流を実施し、水源涵養に取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・現場資材は、熊本県リサイクル製品認証を取得したものを積極的に使用している。 ・再生用紙利用を推進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・新鮮な野菜などいただいたものは社員や知り合いに分けて美味しく食べ、ロスが出ないようにしている。 ・食品ロスにならないように社員一人一人が気をつけ無駄な買い物はしないように周知している。 ・関連企業から市場に出せない農林水産物を特価で購入するなど、規格外や未利用の農林水産物を有効活用している。 ・NPO法人等へのフードドライブ活動を推進している。			1	2			6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・地元325号(河陽)で植栽と清掃作業を毎年実施し、地域の緑化活動に参加している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルや蓄電池を設置し、オフィスの節電に取り組んでいる。												7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・野焼きや地域行事等に積極的に参加し環境保全に努めている。 ・南阿蘇の持続可能な森林の経営・管理に努めている。 ・資材についても熊本県産材の利用を推進している。						6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・植林等の森林整備活動に積極的に取り組むことで南阿蘇の大自然との共存に貢献している。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる。 ・来客用のお茶については紙パックを使用し、プラスチックごみの削減に努めている。 ・【予定】令和4年10月までに、プラスチック製品の使用を抑制した取組みを開始する。(紙ストローへの変更等)														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・直行直帰を行うことで環境に配慮している。 ・公用車(社用車)は、一部ハイブリット車やEV車としている。 ・【予定】令和4年10月までに、従業員のエコカー購入補助(支援金支給等)制度を創設する。											9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●															7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2

